令和３年度第９回

地域連携推進機構運営会議　議事次第

日　時：令和３年１０月２１日（木）１０：００～１１：３０
場　所：第一会議室

【議題】

＜審議事項＞	資料番号
１　STEAM 教育センター（仮称）について	審議 1
＜報告事項＞	
１　令和３年度地域連携推進機構予算執行状況について	報告 1
２　高大接続事業等に対する JTA 及び RAC の協賛について	報告 2
３　「開学７０周年記念事業地域連携企画展」について	報告 3

※参考資料
・　地域連携推進機構運営会議 委員名簿（令和３年４月１日時点）（参考資料２）

令和３年度第８回地域連携推進機構運営会議

議事要旨

日　時: 令和３年９月16日（木）10：00 ～10:35
場　所：Web会議
出席者：牛窪 潔（機構長）、竹村 明洋（副機構長）、背戸 博史（地域共創企画室長）、柴田 聡史（地域共創企画室 准教授）、小島 肇（地域共創企画室 准教授）、島袋 亮道（地域共創企画室 特命准教授）、畑中 寛（地域共創企画室 特命准教授）、満尾 俊一（総合企画戦略部長）、下地 孝之（総合企画戦略部 地域連携推進課長）
陪席者：平敷監事、稲福 太一（課長代理）、赤嶺 雅哉（地域連携推進係長）

※審議に先立ち、令和３年度第７回運営会議の議事要旨案について確認があり、承認された。

＜審議事項＞
議長から、次の１件の事項について審議を行う旨提案があり、説明の上、審議を行った。

1．琉球大学就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業推進委員会設置要項(案)について
　赤嶺地域連携推進係長から、資料（議題1）に基づき説明があり、審議の結果、委員会設置要項について承認された。

＜報告事項＞
１．令和３年度地域連携推進機構予算執行状況について
　下地地域連携推進課課長から、資料（報告1）に基づき報告があった。

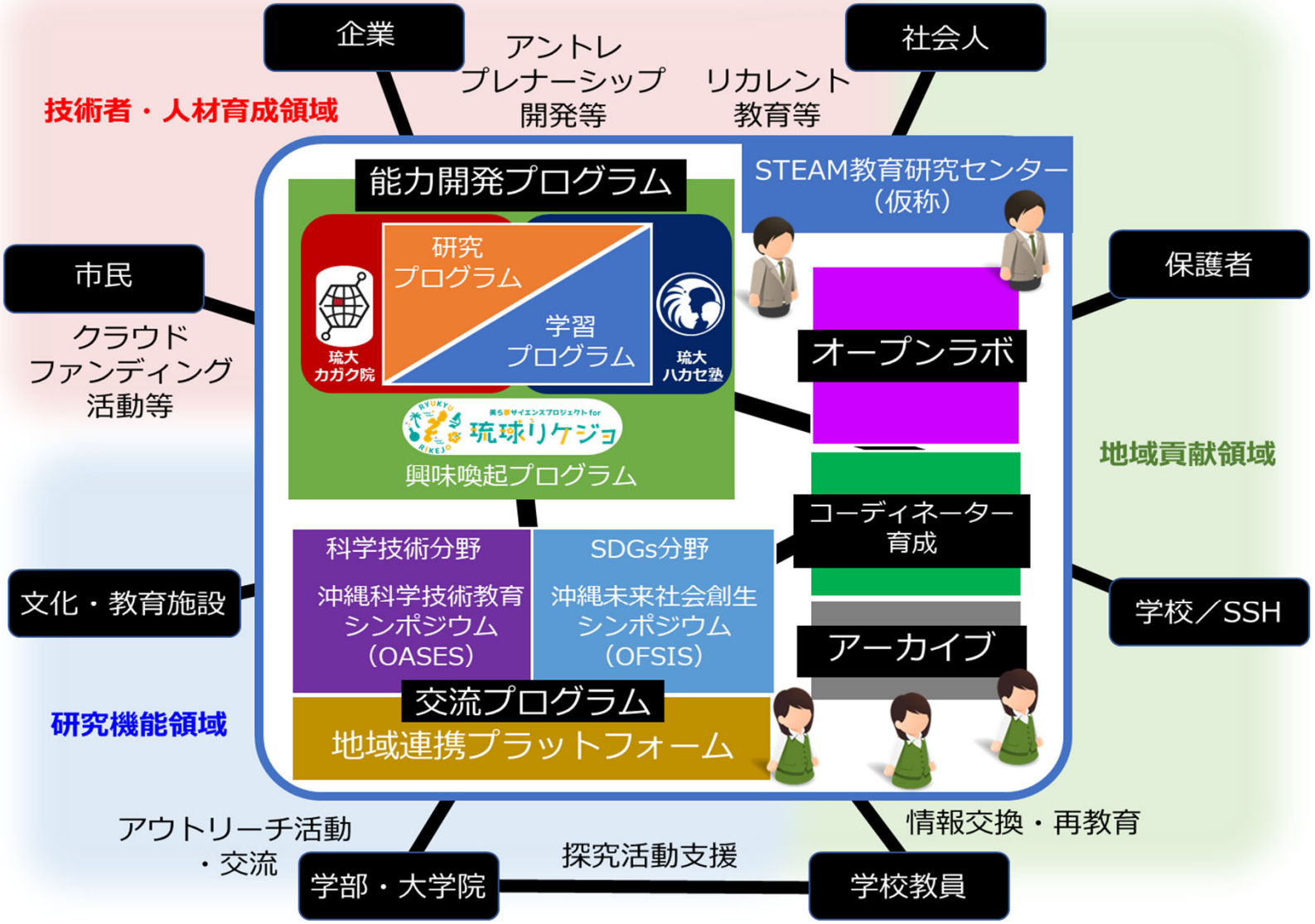
２．令和４年度概算要求について
　稲福地域連携推進課課長代理から、資料（報告2）に基づき報告があった。

３．その他
　①第８回琉大未来共創フォーラム首里城再興学術ネットワークシンポジウム２０２１について
　　小島准教授から１０月３日に開催される第８回琉大未来共創フォーラム首里城再興学術ネットワークシンポジウム２０２１についてお知らせがあった。

　②開学７０周年記念事業地域連携企画展について
　　小島准教授から開学７０周年記念事業地域連携企画展の進捗状況について報告があった。

審議１

STEAM教育研究センター（仮称）のイメージ



産学官金・地域との協働で
「教育環境及び教育サービスの創出・提供・定着」の拠点を創出

沖縄産学官協働人財育成円卓会議

沖縄21世紀ビジョンの実現に資する、産学官金と協働した地域人財の設定、人財輩出のために必要な連携体制＆支援に関するプラットフォーム

「行動するシンクタンク」

地域連携推進機構

・機構長（理事）
・副機構長（地域・社会連携担当副学長）

地域連携推進会議
（全学会議）

機構運営会議
（議長＝機構長）

地域連携推進協議会
（外部委員含む）

○地域と大学を繋ぐ総合的なワンストップ窓口（他の機構や学部等の組織への繋ぎ）
○教育環境及び教育サービスの創出・提供・定着（企画・実施、自走化までを総合調整）

地域共創企画室

※「白文字」は専門部会の例

- **職業教育訓練**（VET：ビジネススキルアップ）
- **リカレント教育**（専門職養成・高度化、初級地域公共政策士）
- **グローバル人材教育**（外国語運用能力、海外インターンシップ）
- **イノベーション教育**（デザイン・シンキング、科学教育、起業教育）
- **新しい生涯学習教育**（自治体向け課題解決講座）
- **社会と大学の接続教育**（出口一体型、地域志向教育）

小・中・高校生、大学生と社会人も含めた学びの機会拡充と教育プログラム開発・実践

開発実践専門部会
（複数設置）

バンクに登録している学内外の人材が、専門部会を舞台に、地域の求める人財輩出のための仕組みづくりへの参画、教育プログラムの開発・実践を担当

地域貢献大学としての機能強化
（琉大ブランドの確立）

島嶼地域をカバーする教育拠点の構築

多様な大学資源 × 産学官金・地域が持つ資源

7学部
8研究科
大学病院等

地域共創人材バンク（登録制）
＜本学教員、高等教育機関・産業界・自治体等の専門人材＞

他の高等教育機関
産業界
自治体
産業支援機関等

専門人材の参画

URI2 科学教育研究センター設置検討プロジェクト

R3

10月	11月	12月	1月	2月	3月
課題の共有	科学教育センター設置 Web pageの開設	Out of KidZania開催	Jr.Dr.育成塾 (JST) 申請 GSC (JST) 申請	リケジョ (JST) 申請 次年度 実施計画策定	

R4

4月	5月	6月	7月	8月	9月
	地域共創の場形成支援プロジェクト(JST) 申請				

国立大学法人琉球大学地域連携推進機構規則

（平成２８年２月２３日制定）

（趣旨）

第１条　この規則は，国立大学法人琉球大学組織規則第１６条第２項の規定に基づき，国立大学法人琉球大学地域連携推進機構（以下「機構」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定める。

（目的）

第２条　機構は，琉球大学（以下「本学」という。）が地域貢献大学として，持続可能な社会の実現に寄与していくことを目指し，自らが保有する教育研究の強みや特色を活かして，教育機関，地方公共団体，産業界及び金融機関等（以下「各種団体」という。）と連携を推進することによって，地域の振興や発展を担う人材を育成することを目的とする。

（業務）

第３条　機構においては，次に掲げる業務を行う。

（１）各種団体との連携により，地域の振興や発展を担う人材育成のための全学的な活動に係る事業に関すること。

（２）国立大学法人琉球大学組織規則に定める運営推進組織及び教育研究等組織（以下「部局等」という。）が行う各種団体との連携に関する活動の支援及び推進に関すること。

（３）前各号に掲げるもののほか，前条の目的を達成するために必要な業務

（構成員）

第４条　機構に，次の各号に掲げる者を置く。

（１）機構長

（２）副機構長

（３）専任教員

２　前項に規定する者のほか，次の各号に掲げるものを置くことができる。

（１）特命教員

（２）併任教員

（３）その他機構長が必要と認める者

（機構長）

第５条　機構長は，地域連携を担当する理事をもって充てる。

２　機構長は，機構の業務を掌理し，統括する。

（副機構長）

第６条　副機構長は，国立大学法人琉球大学（以下「本法人」という。）の副理事又は教員のうちから機構長の推薦に基づき，学長が任命する。

２　副機構長は，機構長の職を補佐し，機構長に事故があるとき又は欠けたときは，その職務を代行する。

３　副機構長の任期は２年とし，再任を妨げない。ただし，欠員が生じた場合の後任者の任期は，前任者の残任期間とする。

（専任教員）

第７条　専任教員は，特命教員及び併任教員と協力し，第３条の業務を行う。

２　専任教員の選考手続等については，国立大学法人琉球大学教員選考通則の規定に基づき，機構長が担当の理事と調整の上，学長の承認を得て，別に定める。

（特命教員）

第８条　特命教員は，専任教員及び併任教員と協力し，第３条の業務を行う。

２　特命教員の選考手続等については，機構長が別に定める。

（併任教員）

第９条　併任教員は，専任教員及び特命教員と協力し，第３条の業務を行う。

２　併任教員は，機構長の推薦に基づき，学長が任命する。

３　機構長は，前項の推薦に当たっては，当該教員の所属する部局等の長の同意を得るものとする。

４　併任教員の任期は任命された日の属する年度の翌年度の末日までとし，再任を妨げない。

（地域共創企画室）

第１０条　機構に，第３条に掲げる業務について，機構の職員が相互に連携して企画及び立案等を円滑に進めるため，地域共創企画室（以下「企画室」という。）を置く。

（企画室の業務）

第１１条　企画室は，次の各号に掲げる業務を行う。

（１）各種団体との連携による人材育成の企画及び立案，実施並びに管理

（２）各種団体との連携に必要となる協議及び組織間の連絡調整

（３）本学における地域連携の推進に資する研究及び調査並びに広報

（４）前各号に掲げるもののほか，第３条に掲げる業務の企画及び立案等

（企画室の構成員）

第１２条　企画室に，次の各号に掲げる者を置く。

（１）企画室長（以下「室長」という。）

（２）専任教員

（３）その他室長が必要と認める者

（室長）

第１３条　室長は，本法人の役員及び教員のうちから機構長の推薦に基づき，学長が任命する。

２　室長は，企画室の業務を掌理する。

３　室長の任期は２年とし，再任を妨げない。ただし，室長に欠員が生じた場合の後任者の任期は，前任者の残任期間とする。

（運営会議）

第１４条　機構に，機構の運営に関する事項を審議するため，地域連携推進機構運営会議（以下「運営会議」という。）を置く。

（審議事項）

第１５条　運営会議は，次に掲げる事項について審議する。

（１）機構の管理運営に関すること。

（２）機構の教員人事（教員選考に係る部分を除く。）に関すること。

（３）機構の事業計画に関すること。

（４）前各号に掲げるもののほか，機構に関すること。

（運営会議の組織）

第１６条　運営会議は，次に掲げる委員で組織する。

（１）機構長

（２）副機構長

（３）室長

（４）専任教員

（５）総合企画戦略部地域連携推進課長

（６）その他機構長が必要と認めた者

２　前項第６号の委員の任期は２年とし，再任を妨げない。ただし，欠員が生じた場合の後任者の任期は，前任者の残任期間とする。

（議長）

第１７条　運営会議に議長を置き，機構長をもって充てる。

２　議長は運営会議を招集し，主宰する。

３　議長に事故があるとき又は欠けたときは，副機構長がその職務を代行する。

（議事）

第１８条　運営会議は，委員の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。

２　議決を要する事項については，出席委員の過半数で決し，可否同数のときは，議長の決するところによる。

３　議長が必要と認めるときは，委員以外の者を運営会議に出席させ，意見を聴くことができる。

（地域連携推進会議）

第１９条　地域連携の活動等に関する全学的な事項を審議するため，地域連携推進会議（以下「推進会議」という。）を置く。

２　推進会議に関し必要な事項は，別に定める。

（地域連携推進協議会）

第２０条　機構及び機構が行う活動等について，客観的な観点からの評価及び助言等に基づいた改善に資するため，地域連携推進協議会を置く。

２　地域連携推進協議会に関し必要な事項は，別に定める。

（部会）

第２１条　機構に，教育研究における専門的な分野に係る取組を推進するため，必要に応じて部会を置く。

２　部会に関し必要な事項は，別に定める。

（庶務）

第２２条　機構に関する庶務は，総合企画戦略部地域連携推進課において処理する。

（雑則）

第２３条　この規則に定めるもののほか，機構の運営に関し必要な事項は，推進会議の承認を得て機構長が別に定める。

（改廃）

第２４条　この規則の改廃は，推進会議の議を経て学長が行う。

附　則

１　この規則は，平成２８年４月１日から施行する。

２　琉球大学産学官連携推進規則（平成２０年４月２２日制定）は，廃止する。

３　琉球大学生涯学習教育研究センター規則（平成９年３月２５日制定）は，廃止する。

４　琉球大学地域貢献推進委員会規程（平成１４年６月２５日制定）は，廃止する。

附　則（平成３０年３月３０日）

この規則は，平成３０年４月１日から施行する。

附　則（令和２年１月３１日）

この規則は，令和２年４月１日から施行する。

報告1

令和３年度　地域連携推進機構予算執行状況(2021.10.14現在)

１．基本的な予算

財源	目的	予算配分額(R3)	執行済額	予算残高	執行率	備考
大学運営費（その他）	教育基盤経費	1,057,000	629,426	427,574	59.55%	
	大学開放事業費	2,333,000	564,132	1,768,868	24.18%	
	研究基盤経費	1,619,000	259,125	1,359,875	16.01%	
	（内訳）	845,000	148,766	696,234	17.61%	うち機構共通
		774,000	110,359	663,641	14.26%	うち教員研究費
	一般管理費	650,000	240,626	409,374	37.02%	
	計	5,659,000	1,693,309	3,965,691	29.92%	

２．戦略的重点配分経費-戦略的地域連携推進経費

経費	執行先	予算配分額(R3)	執行済額	予算残高	執行率	備考
地域協働プロジェクト推進経費	H30年度からの支援事業のうち継続事業へ配分	3,700,000	3,700,000	-	100%	４事業に配分済み
地域志向活動トライアル経費	正課科目における地域志向取組	1,000,000	0	-	-	採択済み
	地域共創型学生プロジェクト（ちゅらプロ）	500,000	0	-	-	採択済み
地域連携支援体制構築強化経費	サテライト・イブニング・カレッジ事業（RSEC）	1,500,000	117,839	1,382,161	8%	
	知のふるさと納税事業	1,500,000	0	1,500,000	0%	
	地域協働萌芽プロジェクト支援	1,500,000	0	1,500,000	0%	
	琉球大学未来共創フェア関連経費	0	0	-	-	
	地域貢献事業循環型モデル検討・調査等	500,000		500,000	0%	
	戦略的地域連携推進に係る運営・支援(非常勤職員人件費)					
	戦略的地域連携推進に係る運営・支援(物件)	4,500,000	1,386,746	3,113,254	31%	アクティブシンクタンク学内負担
	アドバイザリースタッフ派遣事業	3,500,000	3,500,000	-	100%	アクティブシンクタンク学内負担　教育学部に配分済み
	計	18,200,000	8,704,585	7,995,415	48%	

３．機能強化経費（戦略３「アクティブ・シンクタンク」）（21,409千円）

財源	目的	配分額(R3)	執行済額	予算残高	執行率	備考
大学運営費（交付金）（21,409千円）	非常勤教員給与	14,000,000	10,045,969	3,954,031	71.76%	
	非常勤講師給与	0	600,953	-600,953	-	
	教育基盤経費					
	計	14,000,000	10,646,922	3,353,078	76.05%	

学 内 経 第 ５ ８ 号
令 和 ３ 年 １ ０ 月 ８ 日

各予算責任者　殿
（医学部・病院及び附属図書館を除く）

財　務　部　長
（公印省略）

令和3年度予算の適正執行に係る各種期限について（通知）

日頃から会計処理等についてご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

今年度予算（運営費交付金及び外部資金）に係る購入等依頼及び、旅費・謝金に係る関係書類の提出期限について、別紙のとおりお知らせします。

令和3年度は第3期中期目標期間の最終事業年度の決算に当たり、別添の文部科学省通知文により、決算関係書類等の早期提出が求められておりますので、本学の事業年度決算の締めを例年より前倒しで早期執行を行っていただくことになります。

よって、貴部局の教職員へ周知するとともに計画的・適切な予算執行に努めていただき、年度末に集中することがないよう、ご協力よろしくお願いします。

※ 別紙の提出期限にかかわらず、既に物品の納入及び役務の完了、出張並びに講演・実習等が完了している分については、速やかに関係書類の提出をお願いします。

※ 個々の契約に基づき研究期間が定められている外部資金については、各担当者と随時調整願います。

問い合わせ先（経理課）

【物品・役務担当】
契約第一係　内線8414
契約第二係　内線2814
契約第三係　内線8057
【旅費・謝金担当】
旅費・謝金係　内線8086

別　紙

【物品・役務】

◇ 運営費交付金 ： 一件の総額が500万円以上（一般競争入札）の購入依頼
◇ 外 部 資 金 ： 一件の総額が100万円以上の購入依頼

購入依頼期限 ： 令和３年１１月１９日（金）

◇ 全ての財源による、一件の総額が10万円以上の購入依頼、または
パソコン・印刷物（どちらも金額にかかわらず）の購入依頼

※ 発注から納品まで1カ月以上を要する場合があり、年度内に納品されない可能性があるため

購入依頼期限 ： 令和４年１月１４日（金）

◇ 全ての財源による、物品・役務の購入依頼

※ これ以降は財務会計システムへの購入依頼も入力できなくなります

購入依頼期限 ： 令和４年２月１８日（金）

◇ 全ての財源にかかる、執行関係書類の経理課への提出期限

※ 見積書、納品書、請求書、完了報告書など

書類提出期限 ： 令和４年２月２８日（月）

【旅費・謝金】

◇ 旅費の概算払い（外国出張もしくは長期出張（1週間以上）の場合）に係る
関係書類の経理課への提出期限

提出期限 ： 支払希望日の2週間前

◇ 旅費・謝金の精算払いに係る関係書類の経理課への提出期限

2月の旅費・謝金　提出期限 ： 令和４年３月４日（金）
3月の旅費・謝金　提出期限 ： 令和４年４月１日（金）

※ 外国への出張・招聘は、渡航情報に注意し、事前に情報の収集をお願いします
※ 3月の旅費については出張終了後に早め（帰任後、翌々日まで）に関係書類を提出して下さい
※ 年度をまたぐ旅費については、事前に旅費・謝金係と調整願います

（報告）

高大接続事業等に対するJTA及びRACの協賛について

地域連携推進機構
小島 肇・伊礼 恭

1. 概要

本学では高大接続事業「琉球大学にぬふぁ星講座（医学部体験授業）」（10月23～24日）および講演会「命を救う！守る！～一緒に考えよう医療職の道～」（11月28日）の開催を予定していますが、この事業に対し日本トランスオーシャン航空（株）（以下、JTA）及び琉球エアーコミューター（株）（以下、RAC）が協賛し、離島地域から参加する学生の往復航空券を提供することになりました。

JTAおよびRACの趣旨としまして、本学とJTA, RACは、「地域・国際社会への貢献」という共通ビジョン、「社会の発展と人材育成及び学術研究の振興への寄与」という目的を実現するため包括連携協定を2018年に締結しており、本協定に基づき特に離島地域の学生に対する教育機会を確保する観点で協賛を行うものです。

2. 協賛内容

（1）「琉球大学にぬふぁ星講座（医学部体験授業）」

宮古諸島・八重山諸島から各2名参加する高校生の往復航空券を無償提供する。

（2）講演会「命を救う！守る！～一緒に考えよう医療職の道～」

久米島・宮古諸島・八重山諸島から各2名参加する中高生の往復航空券を無償提供する。

3. その他

(1)「琉球大学にぬふぁ星講座（医学部体験授業）」に対し、JTAとRACは平成31年度から協賛し、今回が2回目となります。（令和2年度は感染症対策で中止。）

また、講演会「命を救う！守る！～一緒に考えよう医療職の道～」に対するJTAとRACの協賛は今回が初めてとなります。

(2)本学ではJTAおよびRACの協賛について、対象校への通知、広報（チラシ、ポスター、HP等）、各報道機関への対応において、社名及びロゴマークを掲載します。

また、JTA,RACでは、「琉球大学にぬふぁ星講座（医学部体験授業）」のプログラムで予定している体験授業経験者の医学部在校生（八重山高校出身の医学科1年生）と参加者の懇談会の場面を機内誌「コーラルウェイ」やJTA,RACのHPで掲載するべく取材を予定しています。

以上

（添付：体験授業しおり・講演会ポスター）

琉球大学にぬふぁ星講座
医学部体験授業

高等学校名 _____

名前 _____

協賛 JTA 日本トランスオーシャン航空　RAC 琉球エアーコミューター

１．医学部体験授業の目的

沖縄県内の高校生に、医学部の授業・実習、最先端医療や生命科学の研究の体験を通して、医師・医学系研究者を志す強い意志を育む機会を与えることを目的としています。

２．　体験内容

1)　医学部での実習・実験を体験する。

2)　レクチャーを通して先端医療に触れる。

3)　ディスカッションを通して医療倫理について考える。

３．　スケジュール

1 日目　10 月 23 日（土）

9:00-9:30 集合・点呼（基礎講義棟 1 階　104）

9:30-10:00　筒井　正人　医学部長挨拶　（基礎講義棟 1 階　104）

全体での写真撮影、概要の説明、生徒自己紹介（1 人 1 分ほど）

10:00-12:30　実習①又は②

実習①　基礎講義棟 3 階 寄生虫学・細菌学・ウイルス学・免疫学実習室

山下　暁朗　先生（先進医療創成科学講座）、黒柳　秀人　先生（生化学講座）

海川　正人　先生（医化学講座）

実習②　基礎講義棟 2 階組織実習室

高山　千利　先生、清水　千草　先生（分子解剖学講座）

12:30-13:30　昼食　（基礎講義棟 1 階　104）

13:30-16:00　実習②又は①

16:00-17:00　レクチャー①　整形外科学講座　西田　康太郎　先生（基礎講義棟 1 階　104）

「歩けるということ－沖縄で起こっている大問題とは？－」

2 日目　10 月 24 日（日）

9:00-9:30　　集合・点呼　（基礎講義棟 1 階　104）

9:30-11:00　医療倫理についてディスカッション　基礎講義棟 2 階生化学実習室

企画：地域医療部　金城　隆展　先生

タスクフォース：高山　千利　先生、清水　千草　先生

11:00-12:00　医学部での学生生活について　医学部体験授業経験者との懇談会

基礎講義棟 1 階　104

参加予定医学部生

医学科　1 年生　比屋定　結子　さん　（八重山高校出身、2019 年度参加）

医学科　1 年生　當山　花　さん　（球陽高校出身、2019 年度参加）

医学科　2 年生　山川　哲平　さん　　（那覇国際高校出身、2018 年度参加）

12:00-13:00　昼食　（基礎講義棟 1 階　104）

13:00-14:00　レクチャー②　感染症・呼吸器・消化器内科学講座　金城　武士　先生

「医学研究のエトセトラ　～感染症の話題を中心に～」

（基礎講義棟 1 階　104）

14:00-15:30　医学部体験授業感想発表会（1 人につき 3 分）、（基礎講義棟 1 階　104）

修了証授与式（筒井　正人　医学部長）、全体での写真撮影

アンケート記入

高山　千利　先生挨拶

４．持参する物

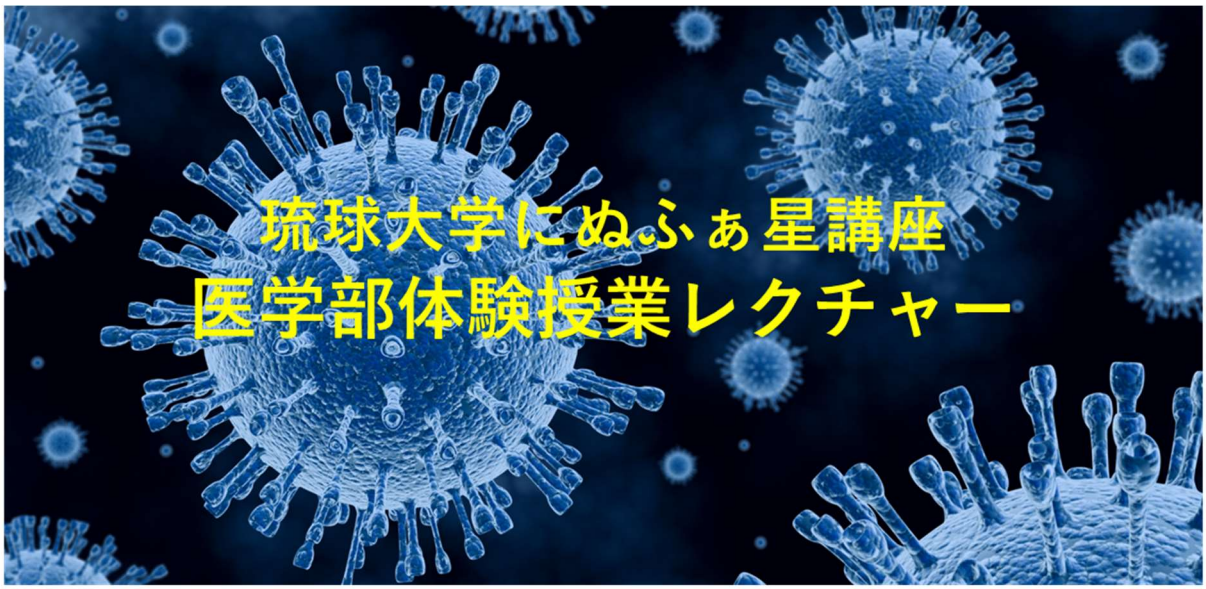
（１）筆記用具　ノート、学生証

（２）実習で使用できるデバイス（ノートパソコンやタブレットなど）、あれば USB

５．　医学部体験授業に関する連絡先

琉球大学 アドミッションセンター
担当：山田恭子
TEL：090-6869-3368（本講座用携帯電話）

医学部体験授業のレクチャーを配信します！



琉球大学医学部では、医学部の授業・実習などの体験を通して、医師・医学系研究者を志す強い意志を育む機会として、医学部体験授業を実施しています。このプログラムのうち、講義（レクチャー）部分をオンデマンド配信を行います。

①　琉球大学　整形外科学講座　西田　康太郎　先生
「歩けるということ－沖縄で起こっている大問題とは？－」

②　琉球大学　感染症・呼吸器・消化器内科学講座
金城　武士　先生
「医学研究のエトセトラ　～感染症の話題を中心に～」

対象：中学生・高校生とその保護者、中学校・高等学校の教員

オンデマンド配信期間：2021年11月１日（月）～11月30日(火)
（申込〆切：11月21日（日）まで）

講演聴講、アンケート記入後に、受講証を発行いたします。
申込方法など：琉球　リケジョ　　で検索

この配信は、国立研究開発法人　科学技術振興機構「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」の一環として、琉球大学「美ら夢サイエンスプロジェクト for 琉球リケジョ」として行われます。

問い合わせ先：琉球大学グローバル支援機構　リケジョ事務局
TEL:098-895-8985　E-mail:r-rikejo@acs.u-ryukyu.ac.jp

女子中高生の理系進路選択支援プログラム

命を救う！守る！

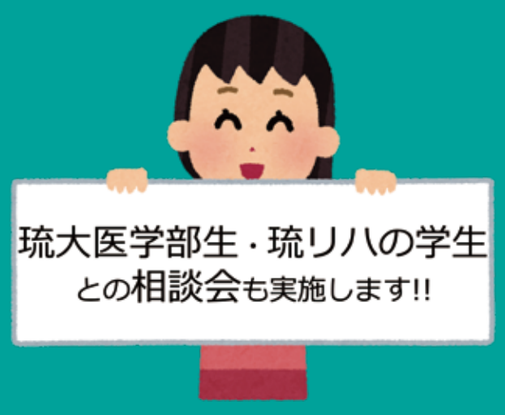
いっしょに考えよう！医療職への道

参加費無料
受講証発行
ZOOM配信あり

令和３年 11 月 28 日（日）

14：00 ～ 16：30 （受付開始 13：30）

浦添市産業振興センター・結の街（大研修室）
（沖縄県浦添市勢理客４丁目３番地１号）

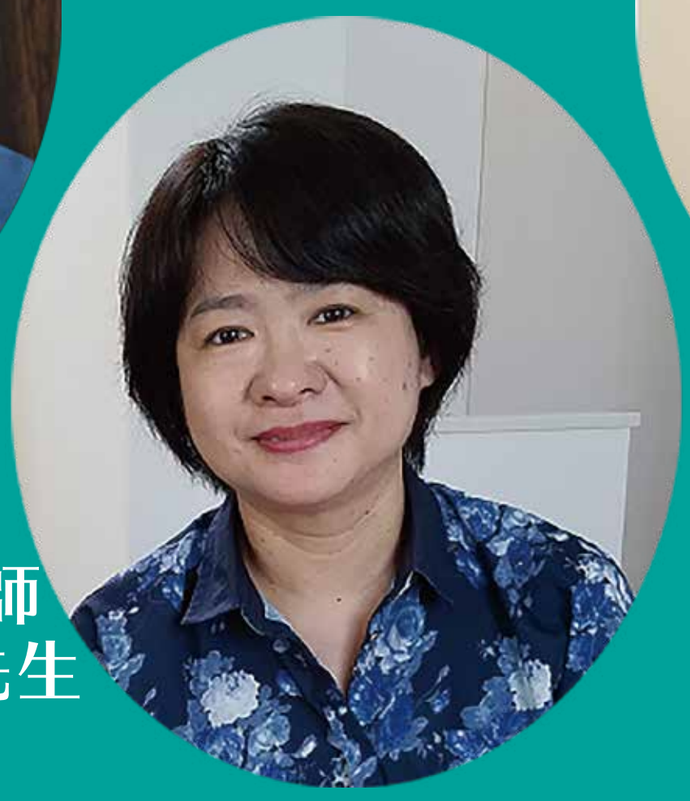


講演者

琉球大学大学院
作業療法士
西村 正彦 先生

琉球大学病院
臨床検査技師
山内 恵 先生

琉球大学
看護師・保健師
當山 裕子 先生



琉球大学病院
医師
西 由希子 先生

対　　象

中学生，高校生とその保護者
中学・高校教員

申込方法

11 月 19 日（金）正午までに,「琉球リケジョ」の HP にアクセスし，
事前申込みをお願いします。
応募者多数の場合は，抽選とさせていただきます。

主催　琉球大学 グローバル教育支援機構

協賛　JTA 日本トランスオーシャン航空　RAC 琉球エアーコミューター

後援　沖縄県教育委員会　沖縄県医師会　沖縄県看護協会
沖縄県臨床検査技師会　沖縄県作業療法士会
沖縄県高等学校 PTA 連合会　沖縄県 PTA 連合会

美ら夢サイエンスプロジェクト for 琉球リケジョ

本事業は国立研究開発法人科学技術振興機構「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」の一環で実施しています。

八重山毎日新聞　2021/10/14

琉球大学医学部の体験授業「にぬふぁ星講座」に参加する後呂友紀君（中左）と長浜月さん（中右）。右はJTA八重山支店の玉城力支店長＝13日午後、八重山高校校長室

医学部志望生を応援

JTA 琉大体験に航空券贈呈

琉球大学が医学部を目指す高校生を対象に開催する体験授業の「にぬふぁ星講座」に参加する八重山高校2年の後呂友紀君と長浜月さんに13日、日本トランスオーシャン航空（青木紀将社長）と琉球エアコミューター（金城清典社長）から航空券が贈呈された。

琉大とJTA、RACは人材育成などを目的とした包括連携協定を結んでおり、八重山や宮古などから同講座へ参加する生徒に航空券を提供している。

同講座では医学部での実習体験や先端医学に関するレクチャー、医療倫理についてのディスカッション、過去に医学部体験授業に参加したことのある医学科生との懇談会が2日間に渡り行われる。昨年は新型コロナウイルスの影響で実施されなかった。

生まれた直後に新生児集中治療室（NICU）に入ったことがあるという後呂君は「テレビなどで放送される医者の姿を見て憧れを持った。八重山は医師不足だと聞いている。祖父も心臓の病気で島外の医療機関にかかった。八重山で医療が完結できるようにし、高齢やの不安を解消したい」、長浜さんは「小学1年生の頃、けがをして医者のお世話になり、その姿をかっこいいと思った。その気持ちが今でも続いている。命を助けることも大切だが、患者の気持ちに寄り添えるような医者になりたい」とそれぞれ話した。

JTA八重山支店の玉城力支店長は「講座のブログラムも充実していると聞いている。実りある有意義な2日間にしてほしい」と激励した。

琉球大学医学部には2015年から離島枠が設けられており、21年には同校からの離島枠1期生が医師国家試験に合格している。

八重山日報　2021/10/14

右から玉城支社長、長浜さん、後呂君、黒島校長＝13日午後、八重山高校校長室

高校生の医学部体験を支援

JTA、RACが航空券

琉球大学が開催する医学部体験授業に八重山高校から参加する後呂友紀君（2年）と長浜月（るな）さん（同）を応援しようと、日本トランスオーシャン航空㈱（JTA）と琉球エアーコミューター㈱（RAC）が13日、2人に那覇への航空券を贈呈した。

医学を志す2人は23、24日に同大学（西原町）で行われる医学部体験講座「にぬふぁ星講座」に派遣され、医学部での実習体験や先端医学のレクチャー、医療倫理についてのディスカッションに参加する。

後呂君は「八重山は、医師不足による医療が完結できないことが課題。将来は離島に自分のスキルを還元し、高齢者の不安を減らせる医者を目指したい」と決意。

長浜さんは「幼いころの怪我がきっかけで医者に憧れを持っていた。琉球大学での体験を通して医療現場で必要なことを学び、今後につなげたい」と意気込んだ。

航空券贈呈は、2社と同大学が2018年に締結した「包括連携協定」に基づいている。地域・国際社会への貢献と、社会の発展と人材育成及び学術研究の振興への寄与が目的。

航空券を手渡したJTA八重山支社の玉城力支社長は「私たちができることは些細な支援で、主役は2人。実りある有意義な2日間にしてほしい」と期待。2社は宮古地区から参加する2人分の航空券も支援している。

黒島卓人校長は「生徒らの意欲は頼もしい。今回の贈呈でさらにモチベーションが高まっているだろう」と感謝した。

同講座は、医学を志す県内高校の1、2年生を対象に2018年から行われている。

自宅療養10人に1人中等症

新型コロナ、第5波ピークの8月

新型コロナウイルス感染症の流行（第5波）で、8月のピーク時には全国の自宅療養者らのおよそ10人に1人が中等症だったことが13日、厚生労働省の調査で分かった。中等症は本来入院対象で、呼吸不全の症状があり酸素投与が必要な「中等症Ⅱ」の人もいた。一部は入院できないまま症状が悪化した可能性がある。

呼吸困難や肺炎の症状がある中等症Ⅰを含め、中等症になった感染者が入院したり、重症化したりした割合については不明という。ただ第5波では、自宅療養者が最大13万人超にとり、病床逼迫（ひっぱく）に伴って入

「開学７０周年記念事業地域連携企画展」コンテンツについて

●「開学７０周年記念事業地域連携企画展」特別講演一覧

No.	特別講演コンテンツ名	コンテンツ形式
1	「JST共創の場プロジェクト」紹介動画	動画形式
2	本学SDGｓの取組紹介（琉大SDGｓシンポジウム（令和３年５月２２日実施）より抜粋） ・「高大連携による沖縄未来社会創生シンポジウム」（教育学部　濱田栄作教授） ・「子育て支援アプリ・サポまるの開発」（人文社会学部　島袋鈴菜　他２名）	動画形式

●「開学７０周年記念事業地域連携企画展」展示会コンテンツ一覧

No.	部局名	責任者	団体名	コンテンツ名	申請カテゴリー	コンテンツ形式
1	国際地域創造学部	主税英德	琉球大学国際地域創造学部地域文化科学プログラム(考古学研究室)	地域に根ざした考古学・博物館学の実践的教育	Ⅱ(地域振興)ー④ Ⅲ(次世代育成)ー④ Ⅳ(島嶼型先進研究)ー①	PDF形式
2	教育学部	福田英昭	教育学部	大学教員を地域や学校に派遣する「アドバイザリースタッフ派遣事業」	Ⅲ(次世代育成)ー①、②	PDF形式
3	教育学部	濱田栄作	教育学部	沖縄の未来を牽引する次世代育成コンソーシアムの構築	Ⅲ(次世代育成)ー①、②	PDF形式
4	教育学部	福本晃造	soramizu研究開発グループ	空気を原料とする水製造装置開発	Ⅱ(地域振興)－③ Ⅳ(島嶼型先進研究)ー①	動画形式
5	教育学部	杉尾幸司	教育学部：沖縄科学技術教育シンポジウム実行委員会	科学を楽しむ中高生の研究発表交流事業「沖縄科学技術教育シンポジウム(OASES)」	Ⅱ(地域振興)－③ Ⅲ(次世代育成)ー②	PDF形式
6	教育学部	浦崎武	トータル支援事業：教育学部・教職センター・教職大学院	支援の必要な子どもたちを地域とともに支える「トータル支援事業」	Ⅲ(次世代育成)ー②、④	PDF形式
7	教育学部	白尾裕志	琉球大学大学院教育学研究科教職実践講座	教職大学院での「教師塾」の取組	Ⅲ(次世代育成)ー①	PDF形式
8	理学部	島田幸治郎	琉球大学、MIRAIME Lａｂ、堀井工業	沖縄とハワイの小学生による国際共同自由研究ー次世代のグローバル才能教育による新事業を目指してー	Ⅱ(地域振興)－④ Ⅲ(次世代育成)ー①、②、③、④ Ⅳ(島嶼型先進研究)ー②	動画形式
9	医学部	今泉直樹	琉球大学医学部保健学科『宮古ビデンス・ビローサ』プロジェクト	宮古島産薬草を利用した琉球大学、企業、地域で行う第6次産業への取り組み	Ⅰ(医療・健康長寿)ー② Ⅱ(地域振興)－①、② Ⅲ(次世代育成)ー④ Ⅳ(島嶼型先進研究)ー①	PDF形式
10	工学部	神田康行	琉球大学工学部工学科機械工学コース材料加工学研究室	首里城破損瓦をリサイクルしたセラミックスの加工について	Ⅱ(地域振興)－④	PDF形式
11	工学部	宮田龍太	工学部工学科エネルギー環境工学コースシステム計測分野	バイオインフォマティクスによるCOVID-19関連遺伝子の探索とAIによる病理診断	Ⅰ(医療・健康長寿)ー① Ⅱ(地域振興)－④ Ⅳ(島嶼型先進研究)ー①	動画形式
12	工学部	千住智信	工学部工学科千住研究室	沖縄におけるカーボンニュートラル実現のための技術	Ⅱ(地域振興)－③	動画形式
13	工学部	長田康敬	工学部電子情報通信コース, (株)AI・Signコンサルティング	AIコンピュータービジョン＋ロボットアーム	Ⅱ(地域振興)－①、③ Ⅲ(次世代育成)ー②、③、④ Ⅳ(島嶼型先進研究)ー②	動画形式
14	工学部	富山潤	琉球大学工学部社会基盤デザインコース　建設材料学研究室・沖縄県コンクリート二次製品共同組合(開発代表工場：(株)キョウリツ)	人と環境に優しい 「うーじ・ゆいバーサル縁石」	Ⅳ(島嶼型先進研究)ー①	動画形式
15	工学部	福田朝生	工学部社会基盤デザインコース水圏環境工学研究室	水・土砂災害の軽減に向けた技術開発	Ⅳ(島嶼型先進研究)ー①	動画形式
16	工学部	カストロホワン　ホセ	工学部工学科建築学コース	首里城正殿再建と沖縄県産材による伝統継承	Ⅱ(地域振興)－④	動画形式
17	工学部	岡﨑威生	工学部工学科知能情報コース岡﨑研究室	人口動態と地理情報へのAI適用による運転代行戦略策定	Ⅱ(地域振興)－③	PDF形式
18	工学部	和田知久	琉球大学工学部工学科知能情報コース　ファイヤー和田研究室	海洋資源開発低コスト化のための、海中無線通信および測位技術の開発	Ⅱ(地域振興)－③ Ⅳ(島嶼型先進研究)ー①	動画形式
19	工学部	下里哲弘 田井政行	工学部附属地域創生研究センター	橋のSDGsの研究～台風と塩害～	Ⅲ(次世代育成)ー④ Ⅳ(島嶼型先進研究)ー①、②	動画形式
20	工学部	屋比久祐盛	工学部　技術部	ものづくりで楽しもう！～技術部のものづくり教室紹介～	Ⅲ(次世代育成)ー②	動画形式
21	農学部	波平知之	琉球大学農学部附属亜熱帯フィールド科学教育研究センター	開学70年目の琉球大学農学部附属農場の今	Ⅱ(地域振興)－① Ⅲ(次世代育成)ー④	動画形式
22	農学部	谷口真吾	農学部 亜熱帯農林環境科学科 森林環境科学分野 造林学研究室	生物多様性の高い亜熱帯林での環境に配慮した林業について考える	Ⅱ(地域振興)－① Ⅳ(島嶼型先進研究)ー①	PDF形式
23	農学部	関根健太郎	沖縄作物保護ネットワーク	サツマイモを核とした沖縄型資源循環農業体系の確立と農業振興	Ⅱ(地域振興)－① Ⅲ(次世代育成)ー②、④	動画形式
24	グローバル教育支援機構	杉尾幸司	琉大ハカセ塾・カガク院	小中高校生を対象とした次世代人材育成事業の紹介(琉大ハカセ塾・カガク院)	Ⅲ(次世代育成)ー①、②、③、④	動画形式
25	グローバル教育支援機構	濱田栄作	美ら夢サイエンスプロジェクト for 琉球リケジョ	女子中高生を対象とした理系進路選択支援に関する取組みについて	Ⅲ(次世代育成)ー①、②、③、④	動画形式
26	研究推進機構・地域連携推進機構	富永千尋	首里城再興学術ネットワークチーム	「琉大未来共創フォーラム 首里城再興学術ネットワークシンポジウム2021 」ダイジェスト版	Ⅱ(地域振興)－②、④ Ⅲ(次世代育成)ー②、③、④	動画形式
27	地域連携推進機構	背戸博史	地域創生副専攻　教員組織	地域創生副専攻の紹介	Ⅲ(次世代育成)ー④	動画形式
28	地域連携推進機構	小島肇	企業と連携して実施する教育プログラム(仮)	企業と連携して実施する教育プログラム(JTA・RAC協力による共通科目「沖縄の航空事業と地域振興」)	Ⅱ(地域振興)－② Ⅲ(次世代育成)ー③、④	動画形式

29	附属図書館	藤田陽子	附属図書館	琉球大学開学70周年記念展示(オンライン)	Ⅲ(次世代育成)ー④ Ⅳ(島嶼型先進研究)ー②	その他(具体的に：附属図書館公式YouTubeチャンネルにて公開)
30	附属図書館	藤田陽子	附属図書館　博物館(風樹館)	令和3年度琉球大学附属図書館・琉球大学博物館合同企画展「琉球大学資料にみる宜野湾～病と祈り～」(オンライン)	Ⅱ(地域振興)－④ Ⅳ(島嶼型先進研究)ー②	PDF形式 その他(具体的に：附属図書館公式YouTubeチャンネルにて公開)
31	附属図書館	藤田陽子	附属図書館	沖縄タイムス コラボレーション企画「デジタルで知る琉球・沖縄の歴史・文化(仮)」	Ⅱ(地域振興)－④ Ⅲ(次世代育成)ー②、④	PDF形式 その他(具体的に：附属図書館公式YouTubeチャンネルにて公開)
32	施設運営部	嘉川陽一	移転推進本部	健康長寿県おきなわを取り戻すために大学ができること～地域とともに行う健康づくり～	Ⅰ(医療・健康長寿)ー②	動画形式

豊かな社会を地域と共に
共創してまいります

琉球大学は、2020年に開学70周年を迎えました。

この記念すべき節目にあたり、本学"Land Grant University"の理念のもと目指している２つの長期ビジョン

「地域とともに豊かな未来社会をデザインする大学」及び**「アジア・太平洋地域の卓越した教育研究拠点となる大学」**

へと繋がる事業として、「琉球大学開学70周年記念事業」を実施いたします。

地域連携企画展

令和3年11月1日～11月30日

企画開会場はこちら

国際交流シンポジウム

令和4年11月●日～3月31日

準備中

琉球大学開学70周年記念メッセージ

MESSAGE

平素より、本学への多大なるご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

2020 年、琉球大学は開学 70 周年を迎えました。本年、開学記念日である５月 22 日の翌日に記念式典及び祝賀会を挙行する予定でございましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、一度は延期し、その後も終息の見込みが立たないことから、先段中止を決定し、公式ホームページ開学 70 周年記念事業のサイトにて皆様にお知らせしたところでございます。

当初、記念式典及び祝賀会は、これまでお世話になった方々への感謝、並びに引き続き支えて頂くためのお祝いの場とし、未来に向けた琉球大学のコンセプトをアピールする企画発表なども計画しておりましたところ、誠に残念でございます。

コロナ禍の中でも、記念式典及び祝賀会の代わりに何かできないかと模索し、記念式典及び祝賀会にてご祝辞を賜る予定だった方々から記念メッセージを頂戴し、このたび当サイトにて掲載することが叶いました。皆様にもお読み頂ければ幸いに存じます。

ご多忙の折、以下メッセージをお寄せ頂いた、萩生田光一文部科学大臣、玉城デニー沖縄県知事、范振國台北駐日経済文化代表処理事分処長、金城棟啓株式会社琉球銀行代表取締役会長（琉球大学後援財団理事長）、Michael S. Bruno ハワイ大学副総長、山里勝己名桜大学大学院教授（琉球大学名誉教授）、幸喜徳子沖縄石油ガス株式会社代表取締役会長（琉球大学同窓会会長）へ心より厚く御礼申し上げます。

最後に、これまで琉球大学の成長、発展にご援助くださった各界各位の皆様にあらためて感謝の意を表しますとともに、今後とも一層の暖かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げまして、結びの言葉といたします。

琉球大学開学70周年記念式典部会長
学長　牛窪 潔

琉球大学学長
西田 睦

文部科学大臣
萩生田 光一

沖縄県知事
玉城 デニー

台北駐日経済文化代表処理事分処長
范 振國

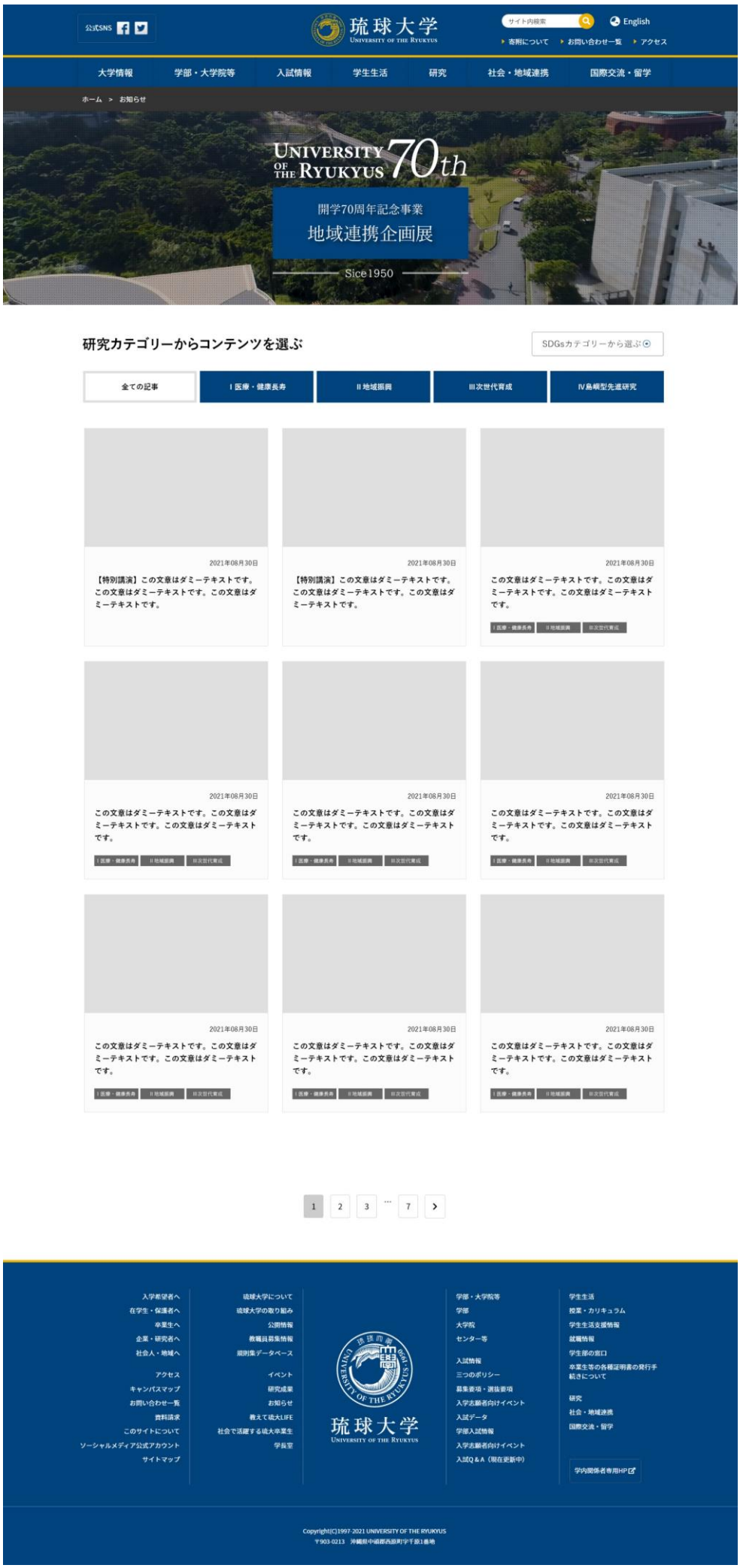
公益財団法人琉球大学後援財団
理事長 金城 棟啓

ハワイ大学副総長
マイケル・ブルーノ

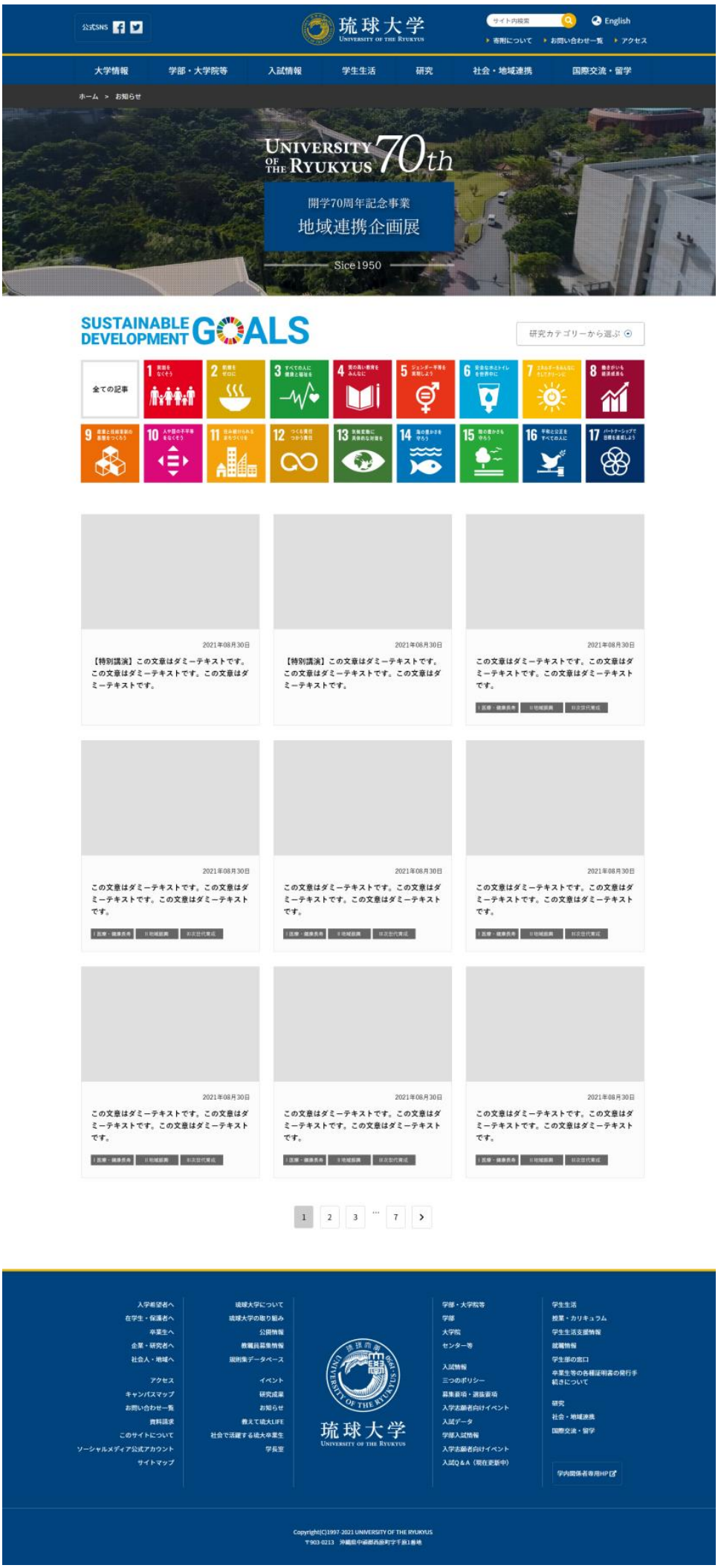
名桜大学大学院教授
山里 勝己

琉球大学同窓会会長
幸喜 徳子

琉球大学開学70周年記念事業推進委員会委員


公式SNS
琉球大学
UNIVERSITY OF THE RYUKYUS
サイト内検索
English
寄附について
お問い合わせ一覧
アクセス
大学情報
学部・大学院等
入試情報
学生生活
研究
社会・地域連携
国際交流・留学
ホーム > お知らせ
UNIVERSITY OF THE RYUKYUS 70th
開学70周年記念事業
地域連携企画展
Sice1950
研究カテゴリーからコンテンツを選ぶ
SDGsカテゴリーから選ぶ
全ての記事
I 医療・健康長寿
II 地域振興
III 次世代育成
IV 島嶼型先進研究
2021年08月30日
【特別講演】この文章はダミーテキストです。この文章はダミーテキストです。この文章はダミーテキストです。
2021年08月30日
【特別講演】この文章はダミーテキストです。この文章はダミーテキストです。この文章はダミーテキストです。
2021年08月30日
この文章はダミーテキストです。この文章はダミーテキストです。この文章はダミーテキストです。
I 医療・健康長寿
II 地域振興
III 次世代育成
2021年08月30日
この文章はダミーテキストです。この文章はダミーテキストです。この文章はダミーテキストです。
I 医療・健康長寿
II 地域振興
III 次世代育成
2021年08月30日
この文章はダミーテキストです。この文章はダミーテキストです。この文章はダミーテキストです。
I 医療・健康長寿
II 地域振興
III 次世代育成
2021年08月30日
この文章はダミーテキストです。この文章はダミーテキストです。この文章はダミーテキストです。
I 医療・健康長寿
II 地域振興
III 次世代育成
2021年08月30日
この文章はダミーテキストです。この文章はダミーテキストです。この文章はダミーテキストです。
I 医療・健康長寿
II 地域振興
III 次世代育成
2021年08月30日
この文章はダミーテキストです。この文章はダミーテキストです。この文章はダミーテキストです。
I 医療・健康長寿
II 地域振興
III 次世代育成
1
2
3
…
7
入学希望者へ
在学生・保護者へ
卒業生へ
企業・研究者へ
社会人・地域へ
アクセス
キャンパスマップ
お問い合わせ一覧
資料請求
このサイトについて
ソーシャルメディア公式アカウント
サイトマップ
琉球大学について
琉球大学の取り組み
公開情報
教職員募集情報
規則集データベース
イベント
研究成果
お知らせ
教えて琉大LIFE
社会で活躍する琉大卒業生
学長室
琉球大学
UNIVERSITY OF THE RYUKYUS
学部・大学院等
学部
大学院
センター等
入試情報
三つのポリシー
募集要項・選抜要項
入学志願者向けイベント
入試データ
学部入試情報
入学志願者向けイベント
入試Q&A（現在更新中）
学生生活
授業・カリキュラム
学生生活支援情報
就職情報
学生部の窓口
卒業生等の各種証明書の発行手続きについて
研究
社会・地域連携
国際交流・留学
学内関係者専用HP
Copyright(C)1997-2021 UNIVERSITY OF THE RYUKYUS
〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

4/5


公式SNS
琉球大学
UNIVERSITY OF THE RYUKYUS
サイト内検索
English
寄附について
お問い合わせ一覧
アクセス
大学情報
学部・大学院等
入試情報
学生生活
研究
社会・地域連携
国際交流・留学
ホーム > お知らせ
UNIVERSITY OF THE RYUKYUS 70th
開学70周年記念事業
地域連携企画展
Sice1950
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
研究カテゴリーから選ぶ
全ての記事
2021年08月30日
【特別講演】この文章はダミーテキストです。この文章はダミーテキストです。この文章はダミーテキストです。
この文章はダミーテキストです。この文章はダミーテキストです。この文章はダミーテキストです。
1
2
3
…
7
入学希望者へ
在学生・保護者へ
卒業生へ
企業・研究者へ
社会人・地域へ
アクセス
キャンパスマップ
お問い合わせ一覧
資料請求
このサイトについて
ソーシャルメディア公式アカウント
サイトマップ
琉球大学について
琉球大学の取り組み
公開情報
教職員募集情報
現附属データベース
イベント
研究成果
お知らせ
教えて琉大LIFE
社会で活躍する琉大卒業生
学長室
琉球大学
UNIVERSITY OF THE RYUKYUS
学部・大学院等
学部
大学院
センター等
入試情報
三つのポリシー
募集要項・選抜要項
入学志願者向けイベント
入試データ
学部入試情報
入学志願者向けイベント
入試Q&A（現在更新中）
学生生活
授業・カリキュラム
学生生活支援情報
就職情報
学生部の窓口
卒業生等の各種証明書の発行手続きについて
研究
社会・地域連携
国際交流・留学
学内関係者専用HP
Copyright(C)1997-2021 UNIVERSITY OF THE RYUKYUS
〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

5/5

参考資料１

地域連携推進機構運営会議 委員名簿

（令和３年４月１日時点）

	所属・職名	氏名	区分	備考
1	機構長 （理事・副学長（地域貢献・国際交流・広報））	牛窪（うしくぼ） 潔（きよし）	１号委員	
2	副機構長 （副学長・副理事（地域連携担当））	竹村（たけむら） 明洋（あきひろ）	２号委員	
3	地域共創企画室長 （地域共創企画室　教授）	背戸（せと） 博史（ひろふみ）	３号委員	
4	地域共創企画室　准教授	柴田（しばた） 聡史（さとし）	４号委員	
5	地域共創企画室　准教授	小島（こじま） 肇（はじめ）	４号委員	
6	総合企画戦略部 地域連携推進課長	下地（しもじ） 孝之（たかゆき）	５号委員	
7	地域共創企画室　特命准教授	島袋（しまぶくろ） 亮道（あきみち）	６号委員	
8	地域共創企画室　特命准教授	畑中（はたなか） 寛（ひろし）	６号委員	
9	総合企画戦略部長	満尾（みつお） 俊一（しゅんいち）	６号委員	

「国立大学法人琉球大学地域連携推進機構規則」より

（運営会議の組織）

第１６条 運営会議は，次に掲げる委員で組織する。

（１）機構長

（２）副機構長

（３）室長

（４）専任教員

（５）総合企画戦略部地域連携推進課長

（６）その他機構長が必要と認めた者

２ 前項第６号の委員の任期は２年とし，再任を妨げない。ただし，欠員が生じた場合の後任者の任期は，前任者の残任期間とする。